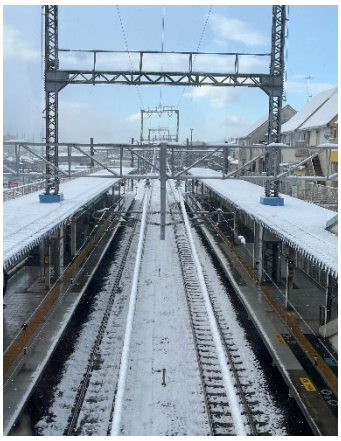
五行歌の会	きんきサロン通信１月号	発行:きんきサロン　代表・いぶやん 編集長・小倉はじめ No.021　2024.01.14

あけましておめでとうございます！



１月８日（成人の日）は、きんきサロン 2024 年第１回目（通算 303 回）の歌会でした。辰年、新年早々から能登半島地震や羽田空港事故など荒々しい幕開けとなりました。被害に遭われた方関係者もいらっしゃると思います。謹んでお見舞い申し上げます。

伊吹代表は、２月 11 日開催の関西新春合同歌会や今月のきんき文書歌会の作業等で､汗だく状態。通信は編集長頼むということで､はじめ担当です。

私の最寄り駅は JR 湖西線の小野駅ですが、歌会当日､今シーズン初めての雪景色の清々しい風景でグッド。京都市内はどうかと心配しましたが雪は無し。泊舟さん時代から１月は初詣。ウイングスからみて恵方の下鴨神社に有志で出かけ、その後フレンチレスランでのランチ会。23 年ぶりの西村康則さんも一緒でした。また顔出ししてくれるとの事。嬉しいカムバックです。

歌会は 13 名と盛況。１席青藍さん。淋しい感情の中での客観視線に評価集まりました。２席は、いぶやんと天河童さん。天河童作、般若湯と泊舟とくれば､点は自ずと入りますが､作者の思いは、素直に｢くすり｣だったとか。それでは全然面白くない。まさしく怪我の功名でした。３席倭さん。清々しい表現と感覚に共感が。（はじめ記）

【303 回きんきサロン歌会結果】

１
龍よ
暗雲を
吹き飛ばし
明るい世を
平穏を
黒田節子 10 点

２
庭の椿
風に点呼され
空に応える
嗚呼
私の春が来た
玉虫　12 点 同点次席

３
○も
△も
□も
あった五十年
✿もあったね
岡絹子　＊

4
風の匂い
木の肌ざわり
水の清らかさ
空の深さを
知っている悦び
倭 13 点 三席

5
斎場へ向かう
車列を
首を伸ばして
見つめる
アオサギの目
青藍 16 点 一席

6
変えてみよう
生き方を
変われるの
よしっ今年こそ
初詣で誓う
西村康則 7 点

7
「あんよは上手」初めての一歩
親から離れて新生活への一歩
節目で踏み出した一歩
私をつくってきた一歩
最後の一歩は
二宮信子 6 点

8
賀状の
優しい言葉にさえ
苛立ってしまう
これも私なのだ
今は
平村幸子 10 点

9
雲の上ちょこっと
覗いてみた
いた あの人 あの人も
笑いでいっぱい
あんたは まだまだ早いでと
小倉はじめ 12 点 同点次席

10
昔とった杵柄で
98 歳母も
ゆず味噌作り
活き生きの
昼下がり
HIKARIKO12 点 同点次席

11
皆さんで写真を撮ります
あわてて髪に手をやれば
となりの彼女も。
目が合って
女心が二つ苦笑い
坂東和代 ＊

12
薔薇という字を
ちゃんと書ける人なので
好きになりました　と
夏目雅子
菫(すみれ)、蒲公英(たんぽぽ)など練習する
いぶやん 14 点 同点二席

13
冷たい風にこすれ合うモミジが
散り散りと
枝から離れていく
パキンと折れそうな心
食い止めてくれたのは何だろう
MASAYO 6 点

14
旨い薬は
有りますかと
訊いたら
あるよという
大晦日の泊舟さん
天河童 14 点 同点二席

15
「測定済」の
届いた果物
でも・・
お裾分けは
ちょっと…
ひろし ＊

■(参加者 13 名)
天河童・いぶやん・岡絹子・小倉はじめ・黒田節子・倭・青藍・玉虫・西村康則・二宮信子・坂東和代・HIKARIKO・平村幸子
（歌のみ参加）ひろし・MASAYO

■2 月例会：休会です。
（関西新春合同歌会のため）

■3 月例会： 3 月 3 日㈰
会場・ウイングス京都２Ｆ第２会議室
歌会・午後 1 時開場、1 時半～5 時